

政治学研究科

■政治学専攻(修士・博士課程)
研究科長 佐藤 圭一

世田谷

政治に関する高度な専門知識を 実務に生かす人材の養成

半世紀近い歴史を有する本学で最初に開設された研究科です。正統派アカデミズムの伝統を守り、理論的な分析力とその応用力の育成を目的として、憲法、政治理論、地方行政から国際関係など、政治に関する主要分野を網羅しています。また、アメリカやアジア・中近東を取り巻く政治環境をテーマにした地域研究にも積極的に取り組み、グローバル化時代を意識した多彩なカリキュラムを用意し、より高度な識見を備えた研究者・教育者と専門的職業人の養成に努めています。本研究科は、社会人や留学生も積極的に受け入れており、国際的な交流の場ともなっています。

経済学研究科

■経済学専攻(修士・博士課程)
研究科長 藤本 公明

世田谷

歴史、理論、政策の研究とともに 実務的な分野も重視

「社会に貢献できる経済分野の専門家の育成」という理念のもとに、在籍者の専門的能力の育成に努めています。修士課程では経済学修士の学位の取得に必要な専門能力の育成及び税理士などの国家資格の取得を目標としています。また博士課程では、経済学博士の学位の取得を目標として、その実現に必要なカリキュラム・科目を充実させています。歴史、理論、政策という経済学の3分野を重点的に研究できるようにカリキュラムを編成しつつ、実務的な分野をも意識した編成となっています。税理士界で活躍する修了生を多数輩出しています。

経営学研究科

■経営学専攻(修士・博士課程)
研究科長 町田 耕一

世田谷

新しいビジネスや組織を ダイナミックに構想できる人材を育成

現代はヒト、モノ、カネ、情報・知識といった経営資源をグローバルに活用してビジネスを展開する時代です。本研究科は、この時代を生き抜くための幅広い視野や教養を備え、柔軟で豊かな発想力を持って、新しいビジネスや組織をダイナミックに構想できる人材の養成を目指しています。具体的には、学部教育の延長線上に修士課程を位置づけ、専門的な知識の習得を図っています。さらには、資格取得を視野に入れ、幅広くビジネス分野で活躍できる有為な人材の養成にも努めています。そのため、本研究科には社会人やアジア諸国からの留学生も多数在籍しています。

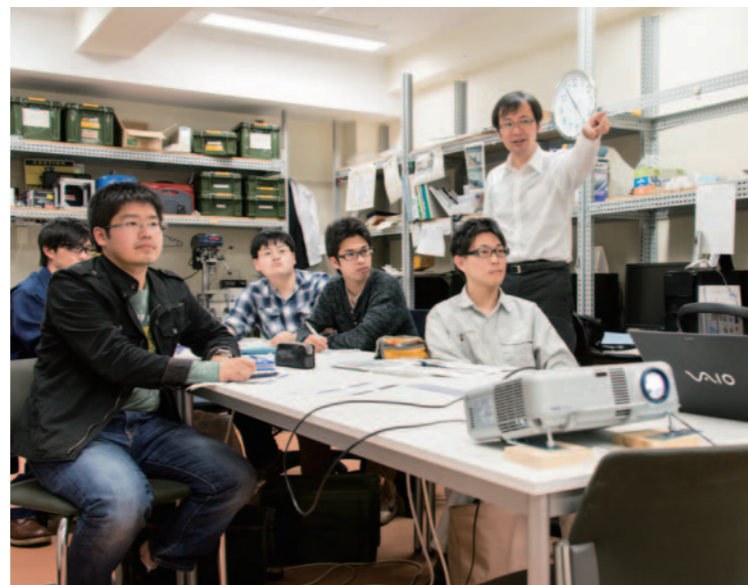
スポーツ・システム研究科

■スポーツ・システム専攻(修士・博士課程)
研究科長 角田 直也

多摩

現代社会が求める 体育・スポーツの専門職業人を養成

「スポーツ教育コース」と「スポーツ科学コース」を設置しています。競技スポーツから生涯スポーツまで多種多様なスポーツ事象を研究対象としており、各自の興味・関心に沿った研究・学習が可能です。日本のみならず、世界各国・地域が抱えるスポーツ教育、学術に関する諸問題を系統的に捉え、それを解決できる高度職業人と専門能力を有する学識豊かな研究者を養成しています。さらにコーチングの高度な技術や知識を有した人材及び教育、学術など、現代社会が求める体育・スポーツの専門職業人として活躍することができる人材の養成を目指していきます。



救急システム研究科

■救急救命システム専攻(修士・博士課程)
■救急救命システム専攻(修士課程/1年コース)
研究科長 島崎 修次

多摩

世界に通じる 病院前救急医療従事者を養成

本研究科は博士課程に救急救命システム専攻、修士課程に救急救命システム専攻と救急救命システム専攻(1年コース)を設けています。病院前救急医療を学問体系化して世界に通じる医療従事者を養成すること、救急救命士を教育するための実技スキルや医学的知識などを身につけること、救急医療分野を支える専門性の高い職業人を養成することを目標として世界に先がけて2010年に開設されました。本研究科は、病院前救急医療体制における多種多様な事象を研究対象とし、救急救命要請の多様化に対応すべく、あらゆるフィールドで活躍する救急救命士のスキルアップや医学的知識の再構築に努めています。

工学研究科

■機械工学・電気工学・建設工学専攻(修士課程)
■応用システム工学専攻(博士課程)
研究科長 西原 公

世田谷

科学技術社会を幅広く支える 創造性豊かな高度職業人を養成

現代社会は、日常生活のあらゆる場面で科学技術と密接なつながりを持っています。工学の領域においても各分野ごとに高度化が進み、より深い学識と専門的な技術・能力が求められています。本研究科はこうしたニーズに応えるため各専攻に研究分野の柱として専門コースを設け、修士課程においては科学技術社会を幅広く支える創造性豊かな技術者・研究者の養成を目指しています。博士課程では、科学的知識とそれを展開する能力を身につけ、独創性に富む高度な研究能力をもって社会に貢献できる人材の養成を図っています。



法学研究科

■法学専攻(修士・博士課程)
研究科長 高橋 敏

世田谷

より高度な法理論及び 実務理論を研究・取得する

現代社会は、社会経済環境の複雑化・情報化・国際化に伴い、特殊で複雑な分野横断型の法律問題が提起される機会が増大しています。本研究科は、基幹法コース、税法・ビジネス法コース、スポーツ法コースを設置し、研究者養成に加え、こうした問題に対応できるよう、時代の要請に応じて最新の法知識や交渉能力を備えた人材や、専門的な法理論や実務理論を研究して法的業務に従事する高度職業人を養成することを目指しています。また、すでに税務・登記・財産管理・家庭・少年問題などの法的職業従事者も社会人学生として積極的に受け入れ、より高度な法理論的な事務処理能力を身につけられるよう指導しています。

総合知的財産法研究科

■総合知的財産法専攻(修士課程)
研究科長 飯田 昭夫

世田谷

知的財産の創造・保護・活用及び 紛争処理能力を養成

急速な技術革新や企業活動のボーダーレス化に伴い、特許権侵害など知的財産紛争の件数は増加傾向にあります。本研究科は、こうした問題に対処できるように、独創的なアイデアなど成果物の権利を適切に保護したり、適正な権利の活用や新たな成果物を創造できる知的財産プロフェッショナルの養成を目指しています。知的財産分野を扱う大学院の多くが工学をベースにしていますが、本研究科は法学をベースにしています。「法学教育」を基礎に、知的財産を経営レベルでとらえるための「経営学」と知価を見いだすための「工学教育」を融合させています。

人文科学研究科

■人文科学専攻(修士・博士課程) ■教育学専攻(修士・博士課程)
研究科長 鷲野 正明

世田谷

人文科学諸分野における より高度な研究能力を養成

人文科学研究科は、本学文学部のカリキュラムを基本にしており、人文科学専攻と教育学専攻の2つのプログラムで構成されています。それぞれが人文科学の諸分野の研究を極めるべく、修士課程と博士課程を開設しています。人文科学専攻では「日本・東洋史学」「日本・東洋文学」「地理・地域論」などの分野を、教育学専攻では「教育学」「教職研究」などの分野が履修できるようになっています。修士課程では研究能力開発とともに時代の要請に応える高度な知見を身につけた職業人の養成を、博士課程では学識豊かな研究者の養成を図っています。

グローバルアジア研究科

■グローバルアジア専攻(修士課程)
■グローバルアジア研究専攻(博士課程)
研究科長 小口 和美

町田

アジアで活躍する高度職業人と 先端研究の専門家を養成

グローバルアジア研究科は、グローバル化が進行するアジア地域を研究対象の中心とし、経済学・経営学・歴史学・日本語教育・地域文化・文化研究・考古学・文化遺産学など様々な学問領域との連携・融合を図りながら、総合的かつ先端的な研究を行っています。この総合的かつ先端的な視野・視点に基づき、修士課程ではアジアを中心に世界で活躍する実践的な人材の養成を、博士課程では先端的な研究の専門家の養成を目指しています。本研究科は、21世紀アジア学部とアジア・日本研究センター、イラク古代文化研究所の学内3機関の連携のもとに教育・研究を進めています。